

# あたらしくはいった本 (令和6年10月 貸出開始資料から)

- 小説 代替伴侶(白石一文/著) 小鳥とリムジン(小川糸/著) あさ酒(原田ひ香/著) 耳に棲むもの(小川洋子/著) ポップ・フィクション(堂場瞬一/著) 家族(高嶋哲夫/著) スメラシング(小川哲/著) 蘭医繚乱(海堂尊/著) リスボンのブック・スパイ(アラン・フラド/著) 哀しいカフェのバラード(カーソン・マッカーズ/著)
- 随筆・詩などの文学 そらそらや(黒川博行/著) すてきなモンスター(アルベルト・マンゲル/著) アジフライの正しい食べ方(浅田次郎/著)
- その他の本 ふろしきがある暮らし(滝野朝美/著) もっと好きになるガラスペンとインクの本(武田健/著) 0歳から100歳までのこれからの「歯の教科書」(多保学/著) 積ん読の本(石井千湖/著) 関西人はなぜ「○○電車」というのか(松本泉/著)



白石一文/著  
『代替伴侶』  
筑摩書房



黒川博行/著  
『そらそらや』  
中央公論新社



アルベルト・マンゲル/著  
『すてきなモンスター』  
白水社

## みんなの としょかん



ホームページ

市民図書館

TEL (921) 4646  
FAX (921) 4896

## としょかんカレンダー

令和6年	日	月	火	水	木	金	土
12	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	31				

○印の日は、お休みです。  
開館時間 午前10時から午後6時まで  
金曜・土曜(祝日除く・太字の日)は午後7時まで

## あまの とおかけ 天野遠景の後任をめぐる

本年2月号で触れましたが、天野遠景は建久5(1194)年ごろまでに九州を統轄する鎮西奉行の職を解任されています。その後、鎌倉幕府は誰を太宰府に派遣し、九州をどのように統治したのでしようか。この問題については、古くから研究者の間でさまざまな異なる意見が交わされてきました。そこで、今回は3つの説を紹介いたします。



～公文書館だより②8～

れ、その頃から頼朝により筑前国(現福岡県西部)・豊前国(現福岡県北部)・大分県北部)・肥前国(現佐賀県)・長崎県のうち吉岐・対馬以外)・対馬島(現長崎県)の守護に任命されました。なお、資頼には、それらの国々に限らず、鎮西奉行に由来する九州全域に及ぶ権限があるという意見があります。その権限は遠景が持っていたものに比べると非常に小さく、鎮西奉行だった根拠にはならないという反対意見もあります。

①中原親能説 遠景の後任として、中原親能が鎮西奉行に任命された説です。親能はもと京都の公家で源頼朝の側近となった文官です。京都の朝廷と幕府との交渉を務めることが多く、遠景が解任された後も親能は京都にいて、太宰府には赴任していません。また親能には九州で遠景のような大きな権限はなかったという指摘もされています。

②武藤資頼説 遠景の後任は親能ではなく武藤資頼だとする説です。武藤氏はもと武蔵国(現東京都・埼玉県と神奈川県の一部)の武士で、頼朝に従うようになって発展しました。資頼は建久6(1195)年以降に太宰府に移ったと考えら

③親能・資頼複数就任説 ①②に対し、遠景の後任として親能と資頼が並び立つ形で鎮西奉行に就任した説があり、親能の後は養子である大友能直とその子孫が引き継いだとされています。しかし、大友氏には九州全域に及ぶ権限はないとして否定する意見もあります。

このように、歴史は決して自明のことではなく、複数の説が唱えられて論争となり、なかなか決着がつかない場合もあるのです。

太宰府市公文書館 大塚 俊司

【バックナンバーはこちら】 ページID7241